

船長! ~うさやんの船宿めぐり~
お世話になります!!



パールピンクの良型が猛アタック!! 泉南沖は早くもキスが いい感じ♡

夏の投げ釣りではおなじみのキスですが、船釣りでも5〜6月は型狙い、その後は数釣りが楽しめます。今回はそのシーズンに先がけて接岸前の良型を狙うべく、泉南・尾崎漁港の日の出丸でお世話になりました!!

vol.42

〈大阪府〉 泉南沖・日の出丸



グッドサイズをダブルでキャッチしたのは井筒良征さん。



流行のライトなタックルで小気味よい引きを堪能していたのは幡井和久さん。



25センチオーバーの手応えは圧巻。抜き上げるときの重量感もたまりません。



「おっしゃ〜、トリプルや!!」最後の最後にはこの日唯一のトリプルヒットも達成!!



尾崎漁港に着いたのは4月9日の午前5時半。阪神高速湾岸線・泉佐野南出口を出て約15分、北摂の自宅からでも約1時間半というアクセスのよさは最高です。

前線をともなった低気圧の通過によって深夜には強い雨が降り、港に着いても小雨が残るパッドコンディションですが、南の空には雲の切れ間も見え始めて徐々に明るくなってきました。これならどうにかなるでしょう…?

さて、日の出丸の待合所では早くも準備を終えた2人の先客、そして



根掛かりの心配がないポイントです。40~50mの深場を釣るので追い食いをさせての一荷釣りで効率アップといきたいですね♪



助手の伊喜見さんも良型を手笑顔です。



底を取ったら竿先を上下させてキスに餌をアピールします。



低活性時はしっかりとサソイをかけるのがコツです。



日の出丸の釣り座。定員12名でゆったりと釣りが楽しめます。

キスのシーズンはこれからが本番。水温が安定すればもっと数が出て楽しめますよ!!



若船長の将さんはコンスタントに良型をダブルヒットさせていました。



ズニョリッ。変な手応えで仕掛けを上げてみると。かわいイイダコでした。



「やっとダブルできたわ〜!」 幡井さんは細やかなサソイで良型を連発させていました。



私にも20^チ級がダブルです♡

飲まれたときの簡単なハリのはずし方



あ〜ら不思議、あつまさりハリがはずれやす。手返しよく数を釣るのに重宝するテクニクですね〜!!



割りバシとハリスをしっかり持ち、ハリスを軸に魚を回転させます。



キスの口から割りバシをエラの奥までしっかりと差し込みます。

談笑する堀内初夫船長の姿がありました。「昨日からの雨で水温が下がったのが難儀やけど、これから天気も回復するから大丈夫やと思うわ。しっかり釣ってな!!」と、船長は私を含めた3名の釣り人と船長の長男である若船長の将さん、助手の伊喜見さんに乗せて午前6時ちょうどに日の出丸を出港させました。

およそ40分で淡路島の洲本沖に当たる水深40〜50mのポイントに到着。漁師でもある船長は2月ごろからこの付近で底引き網漁をしているそうで「ここらへんがキスの越冬場になっているんや」と教えてくれました。特に今回のポイントは30^チオーバーの大型物も多いとのことですよ。

そんな話をうかがいながら魚探の画面に映る海底の地形を見て驚きました。まるでノコギリの刃のようなデコボコした底になっている!!

「不思議な形やろ。ワシらは、ホコラの瀬、って呼んでる。こんな形なんやけど仕掛けを引きずっても根掛かりはせえへんから釣りやすいんやわ」細やかな砂利がこんな底を形成しているらしいとのこと。とにかくキスはこの海底の形状がお気に入りなので、越冬の時期に集合するようですよ。

この日の水温は10度前後。前日の雨の影響もあってか少し低めです。そして下り0.9mのやや速い潮が動いている中、船長のゴーサインで若船長がスパンカーを張って流し釣りの準備を整えます。

その間に同船のベテランたちは船で用意された餌のアイソメに石粉をまぶし、ハリにセットし始めました。仕掛けは天秤オモリを用いた2〜3本バリの吹き流し式。要するに投げ釣りを使用するのはほぼ同じタイプです。私もレンタルタックル（先調子の船竿30号24^チ+小型両軸リール）に船頭仕掛け（キスバリ8

号2本バリ。モトス、ハリスとも15号)を30号のオモリをつけたキス釣り用天秤にセット。船長のアドバイス通りにアイソメはかたい頭の下から通し刺しとし、ハリ先が出ないようS字型につけました。タラシは2〜3^チがベストだそうです。

「始めましょか。水深46^チ、底を取ったらゆっくり竿先を上下にシヤクツてアピールしてみて。それから少し間置いて食わせるタイミングを作ってな!!」という指示で釣りスタート。そのとたん右舷トモの幡井さんがアタリをとらえ、竿先がコココンッと小刻みに動いています。きつと手もとはキス特有のブルブルという小気味よい魚信が届いていることでしょうね。

上がってきたのは20^チ級のきれいな魚体のキスでした。左舷トモに釣り座を構えた井筒さんも同サイズを取り込んでいます。いい感じの立ち上がりですね。

さて、そろそろ私も釣らなくては。オモリが着底したら竿を立て、まずは仕掛けを潮に乗せてしっかりと張ります。次に軽く竿先を上下させてオモリでトントンと底をたたいて海底に軽く砂ポコリを立てるようなイメージでサソイをかけます。そして糸フケを軽く巻き取り、竿先に少しテンションがかかるような状態で仕掛けを落ち着かせます。

何度かコツコツというキスらしき反応がありますが、なかなかハリに乗ってくれません。タラシ部分をついばんでるのかな?そこで次のアタリで道糸を緩め、キスが餌を吸い込みやすいようにしてみました。グングン、ブルルル!!今度は確かな手応えです。十分に引き味を楽しませてくれたのは20^チ級の良型でした。

流し釣りなので船は潮に乗ってポイント上を通過します。ポイントの

船長! ~うさやんの船宿めぐり~ お世話になります!!



今回の船宿データ

日の出丸 (☎090・3994・3210 <http://www.rinku.zaq.ne.jp/hinodemaru/>)。

■乗合船…キス釣り料金は大人の男性が1人7000円、女性と小・中学生は1人5000円(餌、氷つき)。レンタルタックルは1セット1000円。ライフジャケット、電動リール用バッテリーはレンタル無料(要予約)。乗合船は3人以上で出船。乗船は要予約。出船時間や釣りものは予約時に確認のこと。

■仕立船…釣りの、料金など応相談。

■アクセス…阪神高速湾岸線・泉佐野南出口を出て直進。双子池北交差点(①)を右折し、阪南市役所近くの交差点(②)を左折、南海本線の踏み切りを渡って直進。「えびの」の広場(④)の奥の突き当たりを堤防沿いに右折。直進すると一番奥に尾崎漁港の入口(⑤)がある。

電車釣行の場合は南海本線・尾崎駅西出口から徒歩15分(予約すれば送迎も可)。



日の出丸は釣り座の間隔もゆったりの大船。のびのびと楽しむことができました。



キャビンが広いから移動時
間ものんびりできました。
とても気さくでやさしい堀内初夫船長。泉南沖を知り尽くした頼れるキャプテンです。



待合所は港のすぐ前。事前の準備や帰港後の休憩に便利です♪



無料のコーヒーや電子レンジなども完備されています。

簡単にできます!!

船長直伝!! 簡単キスの背開き

身を伏せて背骨の上から包丁を入れ、背骨をそぎ落とします。



腹の内側についている黒い膜を包丁で丁寧いそぎ落とします。



ハイ、できあがり!!あとは天ぷらやフライにしておいしくいただけますよ!!



まずはウロコと頭を落とします。



頭側から包丁を入れて、尻尾に向けて背開きにします。



腹側の皮一枚を残して開き、ハラワタを取りります。



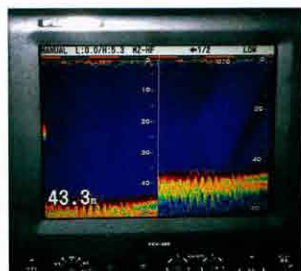
発泡クレー(無料)も水も完備。レンタルタックルを利用すれば手ぶらの釣行もOKです!!



この日の船内の釣果はご覧の通り。脂が乗ったキスはとてもおいしかったです!!



餌はアオイソメ。頭の下からハリを入れてS字型に刺します。石粉をつければ手が滑らずにスムーズな餌づけができますよ。



まるでノコギリの刃のような海底形状にビックリ!! いろいろなポイントがあるんですね…。



日の出丸のレンタルタックル(1セット1000円)。扱いやすく手持ち竿で楽しく釣れました。

海底には凹凸があるので置き竿ではうまく探れませんが、手持ち竿でこまめに底を取りながら底で仕掛けを引くのが大切です。
また、広く探りたければ仕掛けを潮に乗せて流すのもアリ。根掛かりの心配はほとんどないだけにいろいろ

「このエリアのキス釣りはこれらが本格的なシーズンです。6月に入ったら産卵のために浅場へと入ってくるから関空連絡橋付近の水深10mに満たないポイントでも数釣りを楽しめますよ。夏からはタチウオ釣り、冬はメバル・ガシラ狙いで出ますから、シーズンごといろいろな釣りを楽しめますよ!!」と船長。身近なエリアで手軽にキスの数・型が狙えるっていいですね。私も近いうちに尺ギス狙いで再チャレンジしたいと思います!! (宇佐美健次)

るな探り方を試すのが楽しいですね。雨の影響があるのか、キスの活性は普段に比べて低かったようですが、船長はポイントを数回流しでは微妙に船の位置をかえ、少しずつ移動を繰り返しながら点在する群れをピンポイントで狙っています。
そのおかげで私にもポツポツと良型がヒット。昼の納竿時には25匹を頭にキス12匹、イイダコ1匹のうれしい土産をゲットすることができました。